広報
滋賀県身協

令和２年1月1日

127

平成31年4月1日から滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例が施行されました

12月3日～9日は障害者週間です

新年のごあいさつ…… 2
滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例フォーラム 他 …… 3
第69回滋賀県身体障害者福祉大会 …… 4～5
30周年記念式典、地域対抗ボッチャ交流大会 …… 6～7
第39回日身連近畿ブロック福祉大会、
第21回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会 他…… 8
障害者福祉センターコーナー……9～11
クイズコーナー・編集後記 …… 12

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

個人利用時間　午前9時30分～正午・午後1時～4時30分・午後5時30分～8時30分
団体貸切利用時間　午前9時30分～午後8時30分
休　所　日　月曜日（休日を除く）・「休日」の翌日（土曜日・日曜日または「休日」である場合を除く）・12月29日～翌年1月3日・管理者の指定日時
電話　077-564-7327　　ＦＡＸ　077-564-7641
E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com
http://www.shiga-fukushi-center.com/

～公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会財団設立・滋賀県立障害者福祉センター開設３０周年記念式典～
令和元年11月23日（土・祝）県立障害者福祉センターにて

新年あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

新年のごあいさつ

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
会　長　　中　村　　裕　次

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、滋賀県身体障害者福祉協会に多大なご理解とご協力をいただいております皆様方に、新春のお慶びを申し上げます。

また、昨年は、（公財）滋賀県身体障害者福祉協会財団設立･県立障害者福祉センター開設３０周年記念式典を始め、数多くの事業を無事終えさせていただくことができましたのも、会員の皆様方をはじめ、多くの関係各位の温かいご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、昨年は元号が平成から令和に変わり、県では「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行され、また、国においては「障害者差別解消法」が施行後３年が経過することから、法律の見直し検討が行われるなどの新たな取り組みにより、障害の有無にかかわらず、お互いの尊厳や人権を大切にし支え合い、だれもが生き生きとした人生を享受できる共生社会の実現に向けて、法制度等の改善が進められているところです。

しかし、障害者を取り巻く環境は未だ厳しく、災害時の避難支援や雇用環境の整備だけでなく、その他課題も多く、その解決に向けて、当事者団体である当協会としては、関係機関や団体等と連携を密にし、障害当事者の意見が制度や施策に反映され、実効性のあるものとなるよう取り組んでまいります。

また、当協会の課題である地域会員等の高齢化や減少等の対策として、組織活性化のための取り組みを進めるとともに、不特定多数の障害者の方々への利益に寄与できるよう、県民への障害者理解の啓発等を行うことで、公益法人としての役割を果たしてまいります。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって幸多い年となりますとともに、ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

年頭のごあいさつ

滋賀県知事　　三日月　大　造

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から障害のある方々がその人らしく地域で暮らせる環境の向上に御尽力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年は、令和という新しい時代が始まり、本県では、日本農業遺産の認定やビワイチがナショナルサイクルルート第1号に選定されるなど、実りのある一年となりました。

その中で、4月には「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を施行し、障害の有無に関わらず、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けて、着実な歩みを進めた一年でもありました。これを契機として、「障害の社会モデル」の考え方や障害のある人が社会の中でバリアを感じたときに、お互いの事情を理解し合い、何ができるかを共に考え、建設的な対話によってより良い対応を導き出す「合理的配慮」の普及に努めているところです。

私は「人は人の中で人となる」という言葉を大切にしており、日常生活や学びの場、働く場、スポーツや文化芸術活動などにおいて、多様な方々が共に取り組める環境づくりを進めてまいりたいと考えています。そうしたことの積み重ねが、人のつながりを生み、災害などの非常時に地域の力として発揮されるものと存じます。

本年は東京オリンピック･パラリンピック競技大会が開催され、スポーツを通じた共生社会づくりへの関心が高まり、実践の広がりが期待されます。その社会的機運を、2024年に本県で開催する国民スポーツ大会･全国障害者スポーツ大会に引き継ぎ、共生社会づくりの取組の一層の推進につなげたいと考えております。

将来世代も含めた誰もが尊重され、自分らしく生きることができる「未来へと幸せが続く滋賀」を目指し、共に取り組んでまいりたいと存じますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

結びに、本年が皆様にとって、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。今年もがんばりましょう！共に…。

共生社会づくり条例フォーラム

お知らせ

「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を県民に広く周知啓発するため、標記フォーラムを開催します。

日　時：令和2年3月14日（土）13:30～16:00
場　所：栗東芸術文化会館さきら 大ホール
　　（栗東市綣二丁目1－28）
内　容：【演劇】
　　「共生シンフォニーまちかどプロジェクト」による障害者理解を深めるための当事者による寸劇
　　【ダンスパフォーマンス】
　　湖南ダンスカンパニーによるステージパフォーマンス
　　【その他講演を予定】
　　詳細については、滋賀県健康医療福祉部障害福祉課へお問い合わせください。

青壮年部女性活動交流会

お知らせ

粘土などで作る手芸品のフェイクスイーツづくり教室「和気☆愛☆愛 Women」を開催します。

参加申し込みは、当協会までお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしています。

日　　時：令和2年1月18日（土）13:00～16:00
場　　所：滋賀県立障害者福祉センター会議室
　　（草津市笠山八丁目5－130）
対 象 者：県内の障害のある女性
　　青壮年部活動に関心のある人
内　　容：フェイクスイーツづくり
　　～いちごパフェのカードスタンド～
　　青壮年部の活動紹介と交流会
定　　員：先着30人
費　　用：1,500円（手作り体験料含む）
申込期間：１月10日（金）まで

地域アドボケーターの設置について

お知らせ

滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例に基づく相談･解決の仕組みとして、10月から県庁に「障害者差別解消相談員」が設置されるとともに、各地域自立支援協議会からの推薦を受けて、障害のある方の代弁者となる「地域アドボケーター」が設置されましたのでお知らせします。

地域アドボケーター一覧

大津地域	佐藤　信吾	甲賀地域	桐高とよみ	湖東地域	川並　正幸
	菅原美代子		橋本　善信		柴田　勝義
	福山　勝広		金子　秀明	湖北地域	酒井　なつ
	森岡　治美		小野　和雄		佐野　武和
	山口　健二	東近江地域	喜多川みどり		田邊　理恵子
	中川　佑希		夏原　　稔		高田　峰子
湖南地域	河副　健一		澤井　きよ	高島地域	松本　良平
	太田　珠美	湖東地域	片岡　　博		谷口まゆみ
	節木　哲也		岸田　清次		

※詳細については、滋賀県ホームページをご覧ください。

お問い合わせ：ＴＥＬ ０７７－５２８－３５４０／ＦＡＸ ０７７－５２８－４８５３

nakaspo
(株)中山スポーツ
〒520-0863
滋賀県大津市千町1丁目25－25
電話077－534－2525
FAX077－533－2338
http://www.nakaspo.com

TOYOTA Rent a Car
ウェルキャブ レンタカー
（福祉車両）
ダイハツ タント スローパー
基本料金 6時間まで　5,000円(非課税)
ルーミー助手席リフトアップ
基本料金 6時間まで　5,500円(非課税)
※ご利用時期によってはハイシーズン料金となります。
トヨタレンタカー予約センター 0800-7000-111 ウェルキャブ専用 0800-7000-294
株式会社トヨタレンタリース滋賀
0120-101-345
ホームページ http://www.trl-shiga.jp/

第69回　滋賀県身体障害者福祉大会

10月６日（日）10時から、近江八幡市の滋賀県立男女共同参画センターにおいて、第69回滋賀県身体障害者福祉大会を開催しました。当日は、秋晴れのさわやかな日和で、ご来賓の皆様をはじめ県内各地から500名を超える皆様にご参加いただきました。大会では、今年度の知事表彰ならびに会長表彰受賞者24名の授賞式を行い、その後、今大会の宣言と決議が参加者の同意のもと承認されました。

また、今大会では、今年10月に全面施行された「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」について、滋賀県健康医療福祉部障害福祉課酒見課長にご講演いただき、条例の目的である「誰もがお互いに尊重し、支えあい、認め合うこと」を学ぶことができました。大会のアトラクションとして、浄土宗宝池山西願寺の金森昭憲氏による琵琶説教とあづち信長出陣太鼓、吉報師太鼓の皆様による勇ましい太鼓の演奏を披露していただきました。

毎年開催しているこの大会も来年は70回の記念大会となります。これからも、障害者が安心して暮らせる社会づくりを目指す一助となり、実り多き大会となるよう皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

浄土宗宝池山西願寺　金森昭憲氏の琵琶説教

あづち信長出陣太鼓･吉報師太鼓の演奏

令和元年度 滋賀県知事表彰･被表彰者

更生援護功労者			
市町名	氏　名	市町名	氏　名
大　津	今井　寛	近江八幡	三橋　良一
彦　根	馬場　耕造	草　津	大谷　忠正
近江八幡	野田とよ子	東 近 江	村林　嵩雄
近江八幡	原田　勇		

自立更生者			
市町名	氏　名	市町名	氏　名
彦　根	上林　彰	甲　賀	松本　茂

令和元年度 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長表彰･被表彰者

更生援護功労者			
市町名	氏　名	市町名	氏　名
大　津	木下　郁子	湖　南	望月　惇二
彦　根	髙杉ヨシ子	甲　賀	田嶋　郁子
近江八幡	宮川　昭吉	東 近 江	髙木　正明
近江八幡	新田　正紘	米　原	長谷川綱雄
守　山	津田　貞子		

自立更生者			
市町名	氏　名	市町名	氏　名
彦　根	林　啓三	東 近 江	岩本　都雄
守　山	八木　明美	高　島	三原　新悟
甲　賀	松島津由子	高　島	三原すみ子

第69回滋賀県身体障害者福祉大会　大会スローガン

- 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例が広く周知啓発され、より一層障害者理解が深められるよう働きかけよう
- 障害者にとって安心、安全なまちづくりの整備と安全な移動手段が確保されるよう働きかけよう
- 障害者が取り残されない、実効性のある避難支援体制が早急に整備されるよう働きかけよう
- 障害者が自立するための労働環境が、整備されるよう働きかけよう

第69回 滋賀県身体障害者福祉大会宣言

本年４月に「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行され、本月からは、民間事業者や個人にも障害を理由とした差別の禁止と合理的配慮の提供が義務化され、差別解消のための相談体制について整備された。また、国では、障害者差別解消法が施行後３年となり、障害者政策委員会において、見直し検討が行われるなど障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に向けて取り組まれている。

しかし、障害を理由とする差別や合理的配慮の不提供などの実例が数多く発生しており、障害者を取り巻く状況は、安全な移動手段の確保や災害時の避難支援、安心して働ける雇用環境の確保など課題も多く、より一層の施策の充実と障害者への理解を深める対策が必要である。

このような時に、県内各地から多くの障害者が集まり「第 69 回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、障害当事者の思いと願いを結集しアピールすることは大変意義深く、この大会を一つの契機として、私たち自らも、滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例の周知啓発に取り組み、障害者理解が更に深められ、相互に理解し合えるよう努め、これからも共に活動し、法制度や施策の充実を提言できるよう取り組んでいく必要がある。

本大会に参加した私達は、障害者の自立と社会参加を一層推進するため、実践に努めていくことを誓い、ここに宣言する。

令和元年 10 月６日　　公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会
第 69 回　滋賀県身体障害者福祉大会

第69回 滋賀県身体障害者福祉大会決議

1. 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例を啓発し、合理的配慮の提供が民間事業者や個人に義務化されていることを、広く周知されるよう取り組まれるとともに、県条例が遵守される体制整備を要望する。

2. 誰もが安心して暮らせるまちづくりと安全に利用できる公共交通機関が、関連する法令や制度等と整合を図り整備されるよう要望する。特に、視覚障害者や聴覚障害者への情報アクセシビリティの確保を要望する。

3. 災害対策基本法に基づき、早急に避難行動要支援者に対する実効性のある避難支援体制を整備され、特に個別支援計画については全市町で早急に完成されるよう要望する。また、一次避難所のバリアフリー化と福祉避難所が機能する体制の整備を要望する。

4. 改正障害者雇用促進法による障害者の法定雇用率の達成と達成企業の増加に取り組まれ、障害者が安心して差別なく働き続け、自立した生活を送れるよう雇用環境が整備されるとともに、重度障害者の雇用促進に取り組まれるよう要望する。

5. 県内では、様々な障害者団体が活動をしており、より多くの障害者のニーズを把握するためには、その活動の強化と活性化が必要である。各団体の活動だけでなく、関係機関からの支援により、多くの団体や障害者がつながり、地域での交流を深められる機会等を設けるよう要望する。

6. 障害のある人との交流を活性化することにより、障害者理解を深めることは大変重要である。障害のある人との交流を通した心のバリアフリー教育が、子供を含めた関係する大人に対しても進められるよう要望する。

以上決議する

令和元年 10 月６日
公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会
第 69 回 滋賀県身体障害者福祉大会

公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会財団設立・開設30周年記念地域対抗ボッチャ交流大会

当日は天候にも恵まれ、県内各地より約300名もの方にご参加いただき、滞りなく式典を終えることができました。三日月大造滋賀県知事のあいさつや感謝状の授与、東京パラリンピック競泳日本代表内定の木村敬一選手をはじめ、福祉センターゆかりのパラアスリートやスポーツクラブ等からのお祝いのビデオメッセージを上映するなど、盛大に記念式典を行うことができました。

次　第

9:55　オープニング　事業紹介のスライド上映
10:00　開会
第一部
国歌斉唱
主催挨拶　滋賀県知事 三日月大造
(公財)滋賀県身体障害者福祉協会
会　長　中村裕次
感謝状授与
来賓祝辞　草津市長　橋川渉 様
衆議院議員 武村展英 様
参議院議員 嘉田由紀子 様
来賓紹介
祝電披露　滋賀県議会議長 生田邦夫 様　他
ビデオメッセージ
第一部終了　休憩
11:05　第二部
アトラクション　滋賀県警察音楽隊記念演奏会
11:35　閉会

三日月大造滋賀県知事によるあいさつ

感謝状贈呈者

【地域事業協力者】

氏　名	市　町
宮　本　ちず子	大津市
森　本　政　子	大津市
田　中　辰　子	彦根市
東　　輝　栄	甲賀市
松　島　　勲	甲賀市
秋　葉　　剛	甲賀市
佐　野　とし子	東近江市

【講師等事業協力者】

氏　名	市　町
渡　邉　　武	夏まつり
神之口　令　子	夏まつり
伊　関　光　男	施設整備
川　口　八重子	茶道教室
黒　川　久美子	茶道教室
太　田　ひとみ	アクアビクス
石　野　　賢	理学療法士
山　下　邦　治	看　護　師
日　下　保志美	看　護　師

【登録ボランティア】

氏　名	氏　名	氏　名
飯　田　正　美	下　辻　久　代	細　井　　久
岩　田　恭　子	白　井　　毅	松　田　進　吾
岡　田　朋　子	田　中　平一郎	宮　島　吉　章
落　合　政　子	谷　口　岩　人	森　　俊　一
海　田　拓　洋	堤　　央　枝	山　本　晃　弘
國　友　　円	中　塚　　薫	渡　辺　周　子
小　泉　浩　三	中　西　万利湖	渡　辺　英　世
坂　田　英　成	野　村　清　美	
澤　島　令　子	野　村　徹　郎	

地域活動に貢献が顕著な方、福祉センターの運営・事業に大きく貢献された方、福祉センター登録ボランティアとして長年ご協力いただいた方に対し、感謝状を贈呈しました！

地域事業協力者

講師等事業協力者

登録ボランティア

警察音楽隊による演奏／参加者全員で「世界に一つだけの花」を手話をしながら歌いました。

館内には、30周年を記念したパネルや福祉センター利用者からのメッセージを散りばめた「りんごの木」を展示しました。

・滋賀県立障害者福祉センター開設30周年記念式典
会を11月23日(土・祝)に開催しました！！

標記ボッチャ交流大会を開催したところ、県内各市町の更(厚)生会等の会員の方を中心に全32チーム（1チーム２～６名で構成）112名の方にご参加いただきました。

事前に７福祉圏域に出向いて「地域ボッチャ教室」を開催し、交流大会独自のルール説明やボッチャの戦術について参加者と共に考える等行って、地域の皆様に交流大会に向けた気運を高めていただきました。

交流大会では、練習を重ねた選手の皆様が正確な投球や戦術等を駆使し、レベルの高い試合が繰り広げられました。また、観戦・応援に来られていた方々からは、選手の狙いを予想したり、思いもよらない戦術に思わず声を上げたりと、最後まで状況が読めない面白さに一喜一憂されていました。

会場全体が熱気にあふれる中、対戦相手との交流だけでなく、福祉センター登録ボランティアの皆様や職員とも会話を弾ませながら、楽しい雰囲気の中で実施することができ、大変有意義な交流会になりました。

準優勝

栗東市身体障害者更生会Ａチーム

優　勝

守山市身体障害者連合会Ｂチーム

第三位

草津市身体障害者更生会Ｃチーム

(公財)滋賀県身体障害者福祉協会 会長賞

湖　南　市

滋賀県立障害者福祉センター 所長賞

高　島　市

参加者の声

- 初めてボッチャの大会に参加することができて楽しかった。
- 交流大会の参加に向けて、毎月練習を重ねました。
- 他の市町との対戦や交流が出来て良かった。また来年も参加したい。
- 和気あいあいとした雰囲気で、夢中になりながらボールを投げていました。
- 応援の声や歓声があり、市町を越えて、一緒になって楽しめました。

第39回日身連近畿ブロック福祉大会
第21回日身連近畿ブロック
身体障害者相談員研修会

11月18日(月)、国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」で標記大会と研修会が開催され、本県から34人が参加しました。

午前の福祉大会では、大会宣言と障害者権利条約の規定を反映した高い水準での障害者施策の推進等15項目の大会決議が承認されました。午後からの研修会では、内閣府政策統括官付参事官(障害者施策担当)の衣笠秀一氏による「障害者差別解消法について」の講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。来年度は和歌山県和歌山市での開催となります。

第34回障害者による書道・写真
全国コンテスト結果発表

標記コンテストへの作品を募集したところ、書道部門67点、写真部門3点の応募をいただきました。全国からは955点(書道部門804点、写真部門151点)の応募があり、本県から5名の方が入賞されました。入賞作品は、3月31日(火)まで全国障害者総合福祉センターで展示されています。

書道・金賞

「母」
成松　治人

「生活」
松本　晃英

入　賞	氏　名	作品名
書道・銀賞	上田　秀子	湖　山
書道・銅賞	村田　和子	雲　海
書道・銅賞	中西　煌希	人

わが地域の「がんばり日記」

第6回ふれあいのつどい(ミニスポーツ大会)

東近江市身体障害者厚生会

私たち厚生会では、市内の障害者手帳をお持ちの方を対象に「ふれあいのつどい」を毎年開催しており、今年度も、10月11日(金)に東近江市布引体育館で開催したところ、141名の方々にご参加いただきました。

市スポーツ指導員4名の協力を得て、普段あまり体験のできないボッチャをはじめ4種目の競技に参加者は心地よい汗を流しました。また、日赤奉仕団20名には、前日より二日間に渡って昼食の準備をしていただき、温かい食事に感謝しながら美味しくいただきました。参加された方々は、本会の合言葉であります「であい・ふれあい・わきあいあい」と、笑顔で楽しい一日を過ごされ、初めて参加された15名のうち9名の方に本会へ入会いただきました。

各地域・団体の活動報告

令和元年10月～12月

月　日	主　催	会議・行事内容
10月11日(金)	東近江市身体障害者厚生会	東近江市身体障がい者ふれあいのつどい
10月25日(金)	滋賀県視覚障害者福祉協会	滋賀県視覚障害者福祉大会　女性部65周年記念
11月17日(日)	滋賀県脊髄損傷者協会	BIWAKO　CUP2019(車いすバスケットボール大会)
11月24日(日)	滋賀県中途失聴難聴者協会	第25回全国中途失聴者・難聴者福祉大会ｉｎ滋賀
12月15日(日)	東近江市身体障害者厚生会	第15回クリスマス会と消費者トラブル講習会

事務局日誌

令和元年10月～12月

月　日	会議・行事内容
10月　6日(日)	第69回滋賀県身体障害者福祉大会
10月16日(水)	福祉大会決議要望(県議会チームしが) 滋賀県市長会要望、滋賀県町村会要望
10月20日(日)	第4回三役会
10月26日(土)	第3回理事会
11月　2日(土)	障害者週間啓発・推進事業【街頭啓発】
11月18日(月)	第39回日身連近畿ブロック福祉大会 第21回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会
11月23日(土・祝)	(公財)滋賀県身体障害者福祉協会財団設立・ 滋賀県立障害者福祉センター開設30周年記念式典
	第1回青壮年部幹部会

月　日	会議・行事内容
11月29日(金)	障害者週間啓発・推進事業【街頭啓発】
11月30日(土)	障害者週間啓発・推進事業【街頭啓発】
12月　1日(日)	障害者週間啓発・推進事業【街頭啓発】
12月　4日(水)	障害者週間啓発・推進事業【街頭啓発】
12月　8日(日)	障害者週間啓発・推進事業【啓発イベント】
12月13日(金)	第69回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会
12月14日(土)	第5回青壮年部役員会
12月19日(木)	地域における障害理解に向けた啓発促進事業 近畿ブロック「心のバリアフリー啓発プログラム研修」
12月21日(土)	第5回三役会
12月24日(火)	福祉大会決議要望(県知事他関係部局)

障害者福祉センターコーナー　事業案内

開設30周年記念 第36回水泳記録会参加者募集！

大会を通して様々な方とふれあい、また日頃の練習の成果を発揮しよう。

日　　時：3月8日(日)
　　第１部【水中チャレンジ！】10:00～11:30
　　第２部【記録会】13:00～16:30
場　　所：当福祉センター　プール
対 象 者：障害のある人、障害のない人
定　　員：第１部先着　30人（４歳以上）
　　第２部先着100人（小学校１年生以上）
費　　用：無料
申込期間：【障害のある人】1月4日(土)～2月11日(火･祝)
　　【障害のない人】2月1日(土)～2月11日(火･祝)
※ただし、受付期間内でも定員に達した場合はその時点で受付を終了します。

前年度参加者の声

・楽しく泳ぐことができ、また、自己記録にも挑戦することができて、良い時間を過ごすことができました。
・交流ができたので良かった。

開設30周年記念　スポーツ吹矢大会参加者募集！

真剣な中にも、あたたかさがある当福祉センターならではのスポーツ吹矢大会に参加して、多くの方と交流をしませんか。

日　　時：3月20日(金･祝) 13:30～16:30
場　　所：当福祉センター　アリーナ
競技種目：5m（障害の程度により5m以下も含む）6m、8mのクラス別競技
対 象 者：障害のある人、障害のない人でスポーツ吹矢経験者
定　　員：先着44人
費　　用：無料
申込期間：【障害のある人】2月　1日(土)～2月29日(土)
　　【障害のない人】2月15日(土)～2月29日(土)
※ただし、受付期間内でも定員に達した場合はその時点で受付を終了します。

前年度参加者の声

・来年もぜひ参加したい。
・的にたくさん当たったことが楽しかったし、うれしかった。

ボランティア講座を開催します

当福祉センター開設と共にスタートしたボランティア登録制度も30年になりました。改めて、当センターでのボランティア活動に必要なことについて、学んでいただく機会にいたします。内容は現在調整中です。
ぜひご参加ください。

日　時：3月22日(日) 13:30～16:00
場　所：当福祉センター　アリーナ
対象者：当福祉センターでのボランティアに関心のある人（18歳以上）
持ち物：運動のできる服装、体育館シューズ

「琵琶湖一周に挑戦！」「日本縦断に挑戦！」授与式のご案内

『琵琶湖一周に挑戦！』『日本縦断に挑戦！』に参加され、記録を達成された方を対象に記念品･記録証の授与をおこないます。

日　時：２月11日(火･祝) 13:00～
場　所：当福祉センター　会議室
対象者：①平成31年1月5日(土) ～令和元年12月28日(土)の期間に琵琶湖一周･日本縦断を達成された方
　　②上記期間に50回以上挑戦された方
その他：対象者の方には別途通知いたします。

令和２年度年間日程調整会議のご案内

日　時：２月16日（日）10:00～
場　所：当福祉センター　会議室
※原則として、会議前日までに日程が決定されている大規模な大会、行事等での有効な施設利用の調整を目的に開催します。

<会議への参加対象団体>
1.障害者（児）または、その保護者等で組織する団体（組織）
2.当福祉センター登録クラブおよび障害者で組織するスポーツ同好会
3.障害者（児）施設、特別支援学校（特別支援学級を含む）
4.障害者（児）に関わる行政、医療機関、団体等
5.その他、当福祉センター所長が特に必要と認めたもの
※会議によって対象を制限するものもあります。

<調整の対象となる内容および優先順位>
1.県が主催、共催または主管する障害者を対象とした大会等の事業
2.全国規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
3.近畿規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
4.県内の各障害者団体が主催、共催する年1回程度の大規模事業で、多数の参加が見込まれるもの（アリーナや会議室を全面必要とする大会、研修会等）
5.県が主催、共催または主管する健常者も対象として開催する障害者（児）に関する研修会等
6.その他、当福祉センター所長が特に必要と認めるもの
※上記に該当しない場合には、利用申請はできないものとします。

事業報告

バスケットボール選手育成教室　県大会出場

去る11月10日（日）に第57回滋賀県障害者スポーツ大会バスケットボール競技に出場しました。

男子（SMILE FACE）は、6チーム出場中準優勝しました。また、女子は愛知・長浜北星高等養護学校との合同チームで出場しました。結果、2チーム中準優勝となりました。

みんなの気持ちがひとつになる、とても良い経験ができました。

参加者の声

・試合に勝ててうれしかった。もっと練習してもっと上手くなりたい。

組子細工体験教室（報告）

9月7日（土）に当福祉センター会議室にて組子細工体験教室を開催しました。

自分好みの色の和紙を選んで組子入りのミニ行灯を作りながら、伝統技術である建具の組子細工を楽しみながら体験することができました。

参加者の声

・わかりやすく、誰でもできるように進めてくださり、大変満足でした。
・組み立てる時の音や完成していく感じがよく、木の香りを楽しめました。

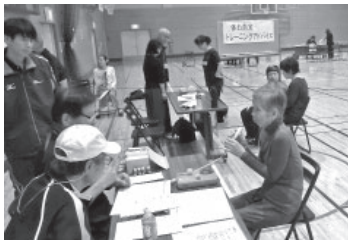
体力測定・トレーニングアドバイス (報告)

10月30日（水）に当福祉センターアリーナにて、体力測定・トレーニングアドバイスを開催しました。

「次の年までの励みとするため」や、「病気でふさぎ込んでいたため再スタートする気持ちで参加した」など皆さん様々な思いをもって測定されていました。

測定後、「身体年齢が５歳も若返ったので嬉しく、引き続き良い結果が出るように努力したい。」「体力の低下に気付きショックを受けたが理学療法士のアドバイスで気持ちが前向きになった。」「管理栄養士の指導により、現在足りていない栄養や食べ過ぎの指摘を受け自分のためになった。」などの声がありました。

受講者は例年と比べると少なかったですが、前年度と記録を対比しながら評定もできるので、次年度はぜひ日頃の運動の成果を確認するためにもご参加ください。



理学療法士の一言

毎年、体力測定を続けている利用者様の結果としては昨年の課題を改善できた方や年々記録が低下してしまっている方など、日々の運動の成果が表れていました。今回が初めての体力測定であった方もぜひ来年の体力測定に参加していただきたいです。

管理栄養士の一言

参加者の皆さんは意識も高く、食事記録もしっかりと書いてきてくださいました。記録することは大切なことで、自身の食事の振り返りや気づきにつながります。このような機会で参加者の皆さんの体力維持と向上の支援ができたらと感じました。

開設 30 周年記念　障害者週間啓発イベント（清掃・交流会）

11月28日(木)に開設30周年記念 障害者週間啓発イベント(清掃･交流会)を開催しました。当日は、障害のある人ない人合わせて93人の参加がありました。清掃活動では、風が吹く寒空の下、1時間程度で歩道の落ち葉が無くなり、とても綺麗になりました。その後の交流会ではボッチャを行い、参加者のナイスショットが決まるとチーム内で大変喜ばれる姿が印象的で、多くの方と交流していただくことができました。

参加者の声

・近隣施設の方々と一緒に清掃をし、挨拶等での交流ができた。

・交流会のボッチャが楽しくて、またしたいと思った。

2019 年度「お客様アンケート調査」の結果について

アンケート実施期間：2019年7月10日(水)～9月1日(日)

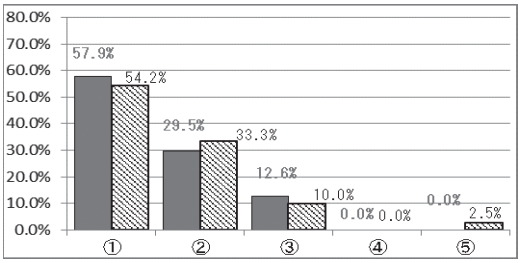
当福祉センターが行っているスポーツ･文化等の事業や受付窓口の対応などのサービスについて、利用者の方々から評価やご意見をいただき、より良い施設運営とサービスの向上に努めることを目的として夏期にアンケートを実施したところ、103件のご協力がありました。アンケートにご協力いただいた皆様方に厚くお礼申し上げます。アンケートの結果がまとまりましたので報告いたします。

1.回答者の属性

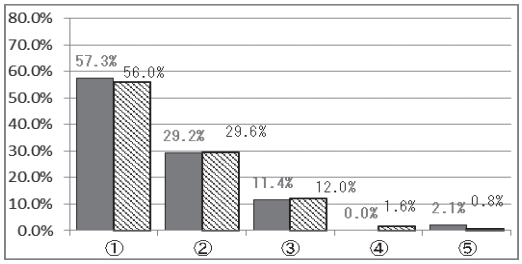
①性別	男性	71人	女性	26人	無回答	6人						
②年齢	20歳未満	11人	20歳代	13人	30歳代	16人	40歳代	20人	50歳代	9人	60歳代	13人
	70歳代	17人	80歳以上	1人	無回答	3人						
③障害区分	視覚	1人	聴覚	1人	肢体	21人	内部	4人	知的	18人	精神	12人
	情緒	0人	重複	0人	介助者	22人	一般	18人	その他	3人	無回答	3人

2.調査結果(一部を紹介)

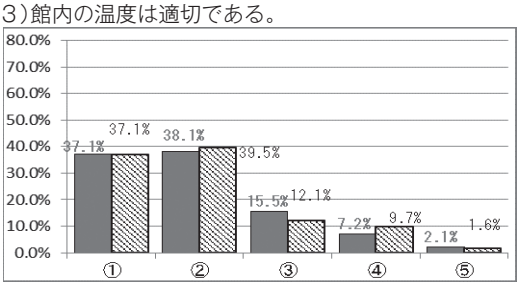
(1)個人情報は守られている。(受付窓口について)



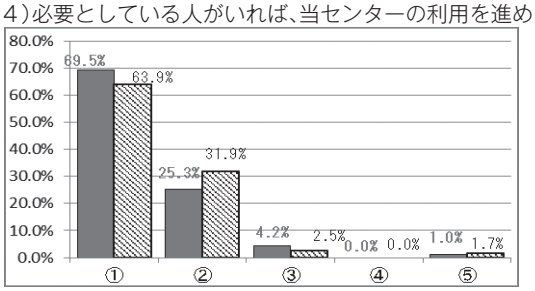
(2)不満や要望についてきちんと対応してくれる。(職員の応対)



(3)館内の温度は適切である。



(4)必要としている人がいれば、当センターの利用を進めたい。



※グラフの見方

2019年度

平成30年度

①とてもそう思う

②まあそう思う

③どちらともいえない

④あまりそう思わない

⑤思わない

※その他の項目の集計結果については、当センター館内掲示または当センターHP(http://www.shiga-fukushi-center.com/)からご確認ください。

3.お客様からのご意見(一部を紹介)

・観覧ホール･プール更衣室の空調が上手く効いていない。

回答：室内の温度計を見ながら空調ならびに床暖房により調整しているところですが、今期冷風機を設置しましたのでご活用ください。今後も可能な限り快適な室温環境に努めてまいります。

・トイレに除菌スプレー等の備品を置いてほしい。

回答：安全面(誤飲等の恐れ)の事情により、設置は難しい状況です。ご理解をお願いいたします。

・守秘義務は守られていると感じるが、職員と利用者のプライベートな会話の中で、個人情報は耳にすることが多い。

回答：勤務中の私語に注意するよう職員には注意喚起をしました。今後職員研修等においても研鑽を積んでまいります。

・コミュニケーションについて専門性を増やしてほしい(具体的には手話の取得等)

回答：手話検定を受験するなどして専門性を高めているところです。また職員研修等の実施により、利用される皆様と良好な関係が築けるよう努めてまいります。

4.今後の対応について

アンケート調査の結果については、ほとんどの設問項目で高い評価をいただきました。今後もより多くの方々にご満足いただけるよう、前回の調査より満足度に減少が見られた項目や各設問項目の理由に記載されたご意見等を踏まえ、サービス改善ならびに向上に一層取り組んでまいります。

なお、施設の環境改善については県との協議や予算制約等により、直ちに対応が困難なものもあります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

クイズコーナー

ご応募頂いた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、クイズコーナーの事務にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

次の①～④のヒントを参考にして□の中の故事・ことわざをうめてください。最後に(A)～(D)の文字を順番に並べたものが答えとなります。

□□ ヒント □□

①連絡をしても返事のないこと。便りのないこと。

②強いものが何かを得て、さらに強くなることのたとえ。

③人は身近なことには案外気がつかないものだというたとえ。

④つらくても辛抱して続ければ、いつかは成し遂げられるということ。

①	(A)		の	つ	ぶ						
②	お			か	(B)	ぼ					
③		う	だ			と	(C)		し		
④	い		の	う		に	も	(D)	ん	ね	

《応募方法》

ハガキに住所、氏名、電話番号、クイズの答え、広報誌に対するご感想等をご記入の上、下記までご応募ください。正解者の中から、3人の方に記念品をお送りします。また、広報誌に氏名が掲載されますので、ご了承ください。なお、応募の締め切りは、2月末日までの消印のあるものを有効とさせていただきます。

〒525-0072　草津市笠山八丁目５番 130 号
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会　県身協クイズの係　まで

＊前回のクイズの当選者（応募総数：19 通）
- 森嶋 恵美子様（甲賀市）
- 中島 松子様　（彦根市）
- 別役 昌子様　（大津市）

＊前回のクイズの答え　→　栗拾い(くりひろい)

①清濁併せ呑む(せいだくあわせのむ)
②喧嘩両成敗(けんかりょうせいばい)
③似て非なるもの(にてひなるもの)
④論より証拠(ろんよりしょうこ)
⑤備えあれば憂いなし(そなえあればうれいなし)

読者からの投稿コーナー

●作品名：雪椿
●作　者：さとみ

読者の皆様からの写真や俳句、川柳などを募集しています。投稿いただいた作品の中から、次号以降の「滋賀県身協」に掲載させていただきます。氏名、作品名を添えてお送りください。皆様の投稿をお待ちしています。
※応募作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

応募先　〒525-0072 草津市笠山八丁目5番130号
(公財)滋賀県身体障害者福祉協会
県身協投稿の係 まで

義援金について

災害復興支援の義援金として、当福祉センターで開催しました「開設 30 周年記念第 29 回夏まつり」および受付「義援金箱」で皆様にご協力いただきました浄財を日本赤十字社滋賀県支部へ送金させていただきました。

ご協力いただいた皆様にお礼申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

●義援金：18,934 円

読者からの声！

●30周年おめでとうございます。日々皆様のお力のおかげと感謝しています。これからもよろしくお願いします。(甲賀市・女性)

●30周年おめでとうございます。多くのイベントを開催されていてすごいです。応援しています。(彦根市・女性)

●毎回、センターコーナー内の募集コーナー・イベント等に参加できるものは参加しようと思い見ています。(東近江市・男性)

●センターの教室の情報を楽しみにしています。(大津市・女性)

原稿募集

次号(第128号、3月10日発行)に伴う**原稿締切日は2月2日(日)**とさせていただきますので、よろしくお願いします。

ワンコインエコパス終了のお知らせ

２０１９年３月３１日をもって、「ワンコインエコパス」の利用が終了しました。詳しくは、滋賀県交通戦略課(TEL：077-528-3681)にお問い合わせください。

編集後記

明けましておめでとうございます。皆様はどのようなお正月をお過ごしでしょうか？

さて、「滋賀県身協」（第 127 号）ができあがりましたのでお届けします。

福祉協会ならびに障害者福祉センターでは、11 月に財団設立・センター開設 30 周年を記念する式典を開催し、県内各地より多くの方にご出席いただきました。また、福祉協会では、福祉大会や要望活動、障害者週間啓発・推進事業を行い、障害者福祉センターでも障害者週間啓発イベントを開催するなど、大きな行事・イベントが続きました。地域の皆様方をはじめ、各関係団体や登録ボランティアの皆様方にご協力をいただき、無事終了できましたこと、心より感謝申し上げます。

本年も、共生社会の実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様には協会の活動に大きな関心とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって健やかで幸多き年になりますようお祈り申し上げますとともに、寒さ厳しき折、お体にはどうぞお気をつけてお過ごしください。

編集発行　公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会　会長　中村　裕次　　滋賀県立障害者福祉センター　所長　竹内　恵子
〒525-0072　草津市笠山八丁目５番130号　　電話:077-565-4832　　FAX:077-564-7641
E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com　　http://www.kenshinkyo-shiga.com

印刷:社会福祉法人 いしづみ会　指定障害者サービス事業所 いしづみ